AED Trainer 3

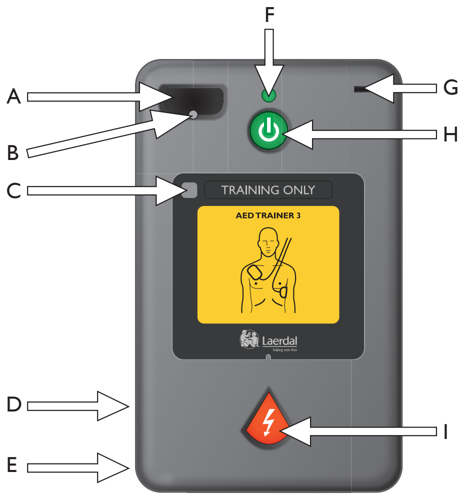
取扱説明書

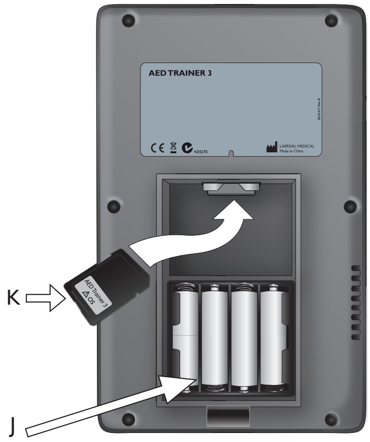
日本語（Japanese)

www.laerdal.com

Laerdal
helping save lives

AED Trainer 3のユーザー・インターフェイス





A. **トレーニング・パッド・コネクタ・ポート** – トレーニング・パッドのコネクタ・プラグの差し込み口。

B. **パッド・コネクタLED** – 電源を入れると点滅して、ポートの位置を示します。パッド・コネクタのプラグが正しく接続されると、差し込まれたコネクタのプラグによってLEDが覆われるため、点滅が止まります。

C. **リモコン受信部** – オプションのリモコンからの信号を受信します。

D. **スピーカー** – AED Trainer 3の音声メッセージを流します。スピーカーの音量は、リモコンで調整したり、機器の設定メニューで設定できます。

E. **コネクタ** – 現段階では使用しません。

F. **使用準備完了ランプ（緑）** – AED Trainer 3の電源を入れると点灯します。リモコンから指示を受信すると点滅します。機器を使用していない場合はオフになります。

G. **小児用キー・ポート** – トレーニング用小児用キーの差し込み口。キーを差し込むと、AED Trainer 3は小児モードで動作し、8歳未満または体重25kg未満の小児に対する除細動のシミュレーションを行います。

H. **電源ON/OFFボタン（緑）** – AED Trainer 3の電源を入れると、音声メッセージを開始します。

I. **ショック・ボタン（オレンジ）** – シミュレーションのショック実行を制御します。シナリオ中にショックが必要と判断された場合は、このボタンが点滅します。

J. **バッテリ・スロット** – AED Trainer 3の電源として使用する単三型アルカリ電池4本（交換可能）を装着します。

K. **オペレーティング・システム・カード** – AED Trainer 3のオペレーティング・システム、音声メッセージ、機器設定が含まれています。AED Trainer 3を使用するには、オペレーティング・システム・カードを挿入する必要があります。

キットの内容

はじめに

概要と使用目的 6
特長 6

同梱されている内容

標準パッケージの内容 7
オプションのアクセサリ 7

AED Trainer 3のセットアップ

オペレーティング・システム・カードの確認 8
バッテリの装着 8
言語の選択 9
設定の変更 10
トレーニング・パッドの接続 11
トレーニング用小児用キーの使用 13

AED Trainer 3の使用

トレーナーの使用準備 14
トレーニング・シナリオの選択 16
トレーニング・シナリオの実行 16
オプションのリモコンの使用 16

付録

パラメータの設定 18
トレーニング・シナリオ 20
リモコン 22
トラブルシューティング 23
仕様 24
関連規格/規制について 25
記号の定義 25

はじめに

概要と使用目的

AED Trainer 3は、ハートスタートFR3自動体外式除細動器（以下FR3）および他のAEDの緊急時の使用に備えて、使用方法をトレーニングできるよう設計されています。AED Trainer 3を、推奨マネキンと併用することで、実際と同様のトレーニングを提供することができます。これは、突然心停止状態の傷病者へのショックの適用や、CPRを含む適切な処置に関するリアルなトレーニングを実現します。

AED Trainer 3には8種類のトレーニング・シナリオがあり、実際の突然心停止（SCA）の症状のシミュレーションを行い、緊急時のFR3の使用に対する理解を深めることができます。シナリオは、国際的に認められたプロトコルに沿って開発されたトレーニング・プログラムに対応しています。

AED Trainer 3の工場出荷時の初期設定は、ERC（European Resuscitation Council）およびAHA（American Heart Association）のガイドライン2010に準拠しています。本製品は、施設のプロトコルやガイドラインの更新に適合するように設定することもできます。

注記：ハートスタートFR3を使用する前に、AED Trainer 3の使用を含む適切な心肺蘇生トレーニング・プログラムを修了してください。意識がない、または呼吸が停止しているといった傷病者の状態判断、心肺蘇生法（CPR）、該当する医療プロトコルや手順の内容に習熟している必要があります。

特長

AED Trainer 3は、FR3 の動作を再現するよう設計されています。ただし、高電圧の機能を備えていないので、トレーニング中の安全が保証されます。ショック実行のシミュレーションが行われます。

AED Trainer 3は、以下のFR3主要な機能のトレーニングの実施に使用できます。

- 除細動処置のすばやい実行。AED Trainer 3のキャリングケースには、FR3キャリングケースの自動電源オン機能が再現されています。ケースを開けると、AED Trainer 3の電源が自動的にオンになります。
- パッドのプリコネクト。FR3 と同様に、AED Trainer 3ではプリコネクトされたパッドが使用可能なので、速やかな処置に役立ちます。
- 小児用キー。AED Trainer 3に付属されているトレーニング用小児用キーで、FR3 の小児モードが再現できます。
- 音声メッセージ。AED Trainer 3は、FR3と同様の音声メッセージでトレーニング・シナリオの各手順を案内します。
- 詳細設定機能。FR3 と同様に、AED Trainer 3の設定はカスタマイズ可能です。必要に応じて簡単に動作を変更できます。

注記：トレーニング用小児用キーはFR3では使用できません。FR3での使用にはFR3小児用キーが必要です。

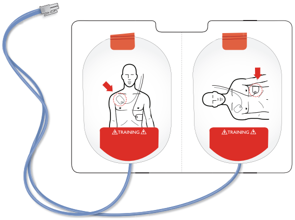
同梱されている内容

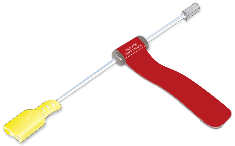
標準パッケージの内容

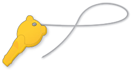
AED Trainer 3には標準で以下が含まれています。

- AED Trainer 3 ×1
- キャリングケース ×1
- トレーニング用小児用キー（キャリングケースに固定紐で取り付け済み）×1
- トレーニング・マネキン用外部アダプタ ×1
- AED Trainer 3オペレーティング・システム・カード（挿入済み、AED Trainer 3オペレーティング・システムを含む）×1
- ハートスタート・トレーニング・パッドⅢ接続ケーブル（リユーザブル）×1
- ハートスタート・トレーニング・パッドⅢ（リユーザブル）×1セット
- 取扱説明書（印刷物、英語および日本語）×1
- クイック・スタート・ガイド（多言語）×1
- 「トレーニング専用」ステッカー（多言語）×1
- 単三アルカリ電池 ×4（図には含まれていません）

AED Trainer 3


フィリップス製トレーニング・パッドⅢ


トレーニング・パッドⅢ接続ケーブル（リユーザブル）


トレーニング用小児用キー

オペレーティング・システム・カード

キャリングケース

オプションのアクセサリ

AED Trainer 3で使用する以下のアクセサリをオプションとしてご用意しております。

- リモコン（交換可能なリチウムCR2025 3Vバッテリ×1付属）[REF：198–00350]
- AED Trainer 3キャリングケース（交換用）[REF：198–10050]
- 取扱説明書（交換用、印刷物、英語および日本語）[REF：20–02971]
- AED Trainer 3オペレーティング・システム・カード（交換用）[REF：198–10250]
- AED Trainer 3用接続ケーブル（交換用）[REF：989803150201]
- ハートスタート・トレーニング・パッドⅢ（交換用）[REF：989803150181]
- トレーニング・マネキン用外部アダプタ（交換用）、5個入り[REF: M5089A]
- Laerdal LINK Technology トレーニング・パッド[REF：945090]

AED Trainer 3のセットアップ

AED Trainer 3の動作をセットアップするには、オペレーティング・システム・カードが適切に挿入されていることを確認し、バッテリを装着し、U.S. English（米国英語）以外の言語を使用する場合は言語を選択し、トレーニング・パッドを接続する必要があります。これらの各タスクについて、以下で説明します。

オペレーティング・システム・カードの確認

AED Trainer 3オペレーティング・システム・カードには、AED Trainer 3のオペレーティング・システムが含まれています。AED Trainer 3は、オペレーティング・システム・カードがあらかじめ挿入された状態で出荷されます。

オペレーティング・システム・カードの取り外し、再挿入、交換は、以下の手順に従って行います。

1 バッテリ・スロットの蓋に付いているラッチを押して、蓋を取り外します。取り外した蓋は側に置きます。

2 オペレーティング・システム・カードがバッテリ・スロット上部のスロットに挿入されていることを確認します。挿入されていない場合は、オペレーティング・システム・カードを図に示す方向で取り付けます。

バッテリの装着

AED Trainer 3には単三型アルカリ電池が4本必要です。AED Trainer 3へのバッテリの装着と交換は、以下の手順に従って行います。

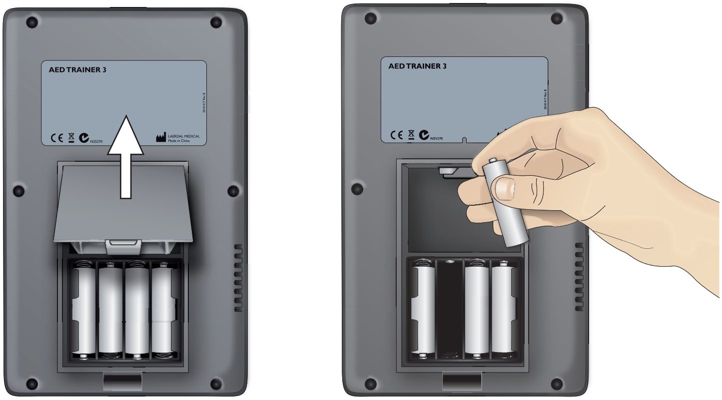
1 バッテリ・スロットの蓋に付いているラッチを押して、蓋を取り外します。取り外した蓋は側に置きます。

2 スロット内の図に従い、バッテリ・スロットに単三型アルカリ電池4本を装着します。

注記：同じタイプの新しい電池のみを使用してください。

3 バッテリ・スロットの蓋を取り付けます。

4 AED Trainer 3をケースに戻します。



言語の選択

AED Trainer 3の初期設定の言語は、U.S.English（米国英語）です。AED Trainer 3を別の言語に設定するには、以下の手順に従います。

1 緑の電源ON/OFFボタンとオレンジのショック・ボタンの両方を約6秒間押し続けます。AED Trainer 3から初期設定の言語「US English」のアナウンスが流れます。

2 両方のボタンを離します。

3 オレンジのショック・ボタンを押したまま、使用可能な言語をスクロールします。AED Trainer 3が新しい言語を順にアナウンスします。

4 希望する言語がアナウンスされたら、緑の電源ON/OFFボタンを押してAED Trainer 3の電源をオフにし、選択言語を保存します。次回にAED Trainer 3の電源をオンにしたときは、この言語が使用されます。*

5 下図に従って、選択言語に該当する「トレーニング専用」ステッカーを貼ります。

* AED Trainer 3は、電源ON/OFFボタンまたはショック・ボタンのどちらを押しても、電源をオンにできます。

設定の変更

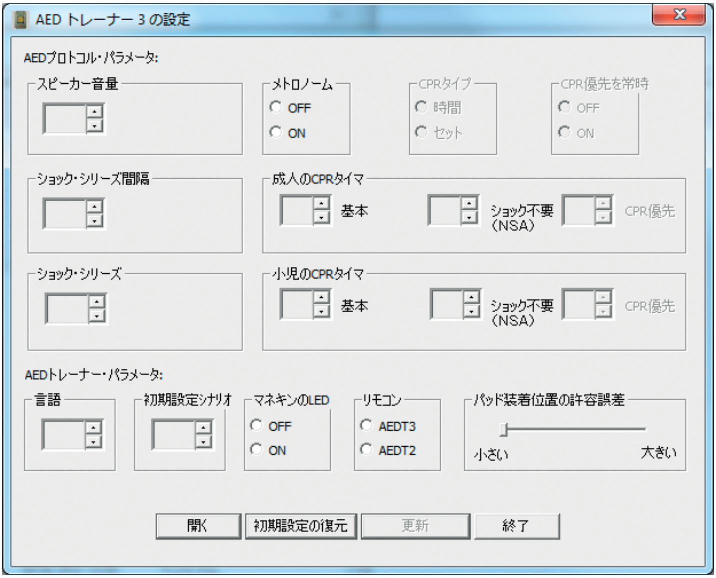
AED Trainer 3の出荷時設定は、FR3の工場初期設定を再現しています。施設のプロトコルや他のトレーニング目的でAED Trainer 3の設定を変更する場合は、以下の手順に従います。

1 バッテリ・スロットの蓋に付いているラッチを押して、蓋を取り外します。取り外した蓋は側に置きます。

2 オペレーティング・システム・カードをバッテリ・スロット上部のスロットから取り外します。

3 オペレーティング・システム・カードをコンピュータのカード・スロットに挿入します。スロットがない場合は、標準のカード・リーダーに挿入し、カード・リーダーをコンピュータに接続します。

4 AED Trainer 3の設定プログラムを開き、必要に応じてパラメータ設定を調整します。**使用可能な設定の詳細については、「トレーニング·シナリオの選択」の項を参照してください。**



5 必要な変更をすべて行ったら、「更新」をクリックします。

6 「終了」をクリックして、設定プログラムを閉じます。

7 コンピュータまたはカード・リーダーからオペレーティング・システム・カードを取り外して、AED Trainer 3に挿入します。**カードの挿入手順については、「オペレーティング・システム・カードの確認」の項を参照してください。**AED Trainer 3の設定は、次回にAED Trainer 3の電源をオンにしたときに自動的に更新されます。

トレーニング・パッドの接続

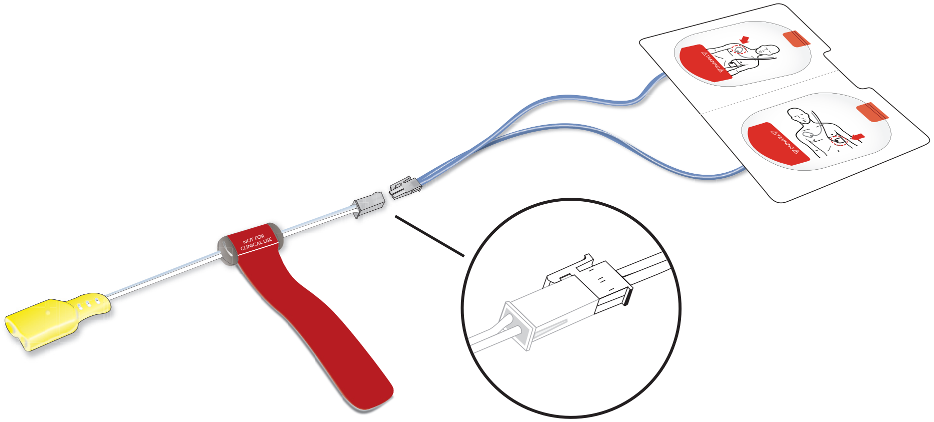
AED Trainer 3では、ハートスタート・トレーニング・パッドⅢまたはLaerdal LINK Technology トレーニング・パッドを使用できます。

ハートスタート・トレーニング・パッドIII

AED Trainer 3へのハートスタート・トレーニング・パッドⅢの接続は、以下の手順に従って行います。

1 ハートスタート・トレーニング・パッドⅢを台紙に付けたまま保管用の袋から取り出します。

2 接続ケーブルを保管用の袋から取り出します。パッド・ケーブルを接続ケーブルに接続します。



3 接続ケーブルの黄のコネクタをAED Trainer 3前面のパッド・コネクタ・ポートに差し込みます。カチッと音がするまでコネクタをしっかりと差し込みます。

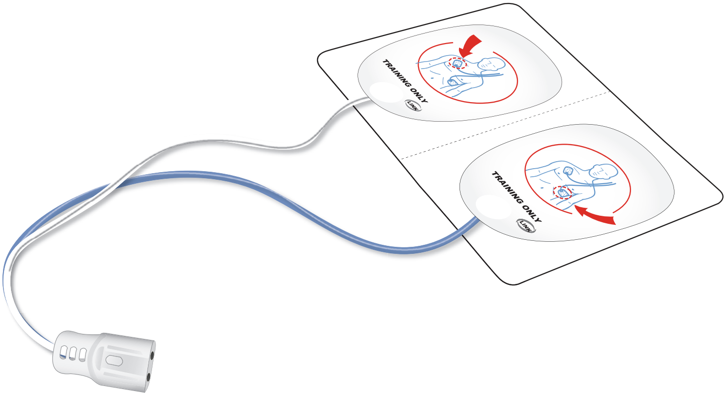
4 パッドがプリコネクトされたAED Trainer 3をキャリングケースに入れます。ケースは、パッドがプリコネクトされた状態でAED Trainer 3を収納できるよう設計されています。

ハートスタート・トレーニング・パッドⅢは最大100回まで使用できます。性能を確実に持続させるため、パッドを高熱や直射日光の当たる環境に置かないでください。パッドを交換する場合は、AED Trainer 3からコネクタ・プラグを取り外して、上記の手順1～3を繰り返します。

LAERDAL LINK TECHNOLOGYトレーニング・パッド

AED Trainer 3へのLaerdal LINK Technologyトレーニング・パッドの接続は、以下の手順に従って行います。

1 Laerdal LINK Technologyパッドを台紙に付けたまま保管用の袋から取り出します。

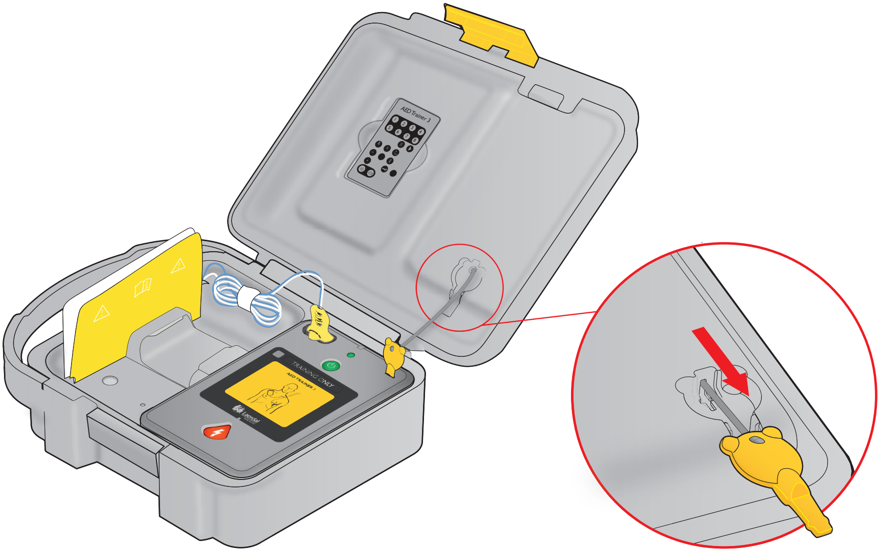


2 パッドのコネクタをAED Trainer 3前面のパッド・コネクタ・ポートに差し込みます。カチッと音がするまでコネクタをしっかりと差し込みます。

3 パッドがプリコネクトされたAED Trainer 3をキャリングケースに入れます。ケースは、パッドがプリコネクトされた状態でAED Trainer 3を収納できるよう設計されています。

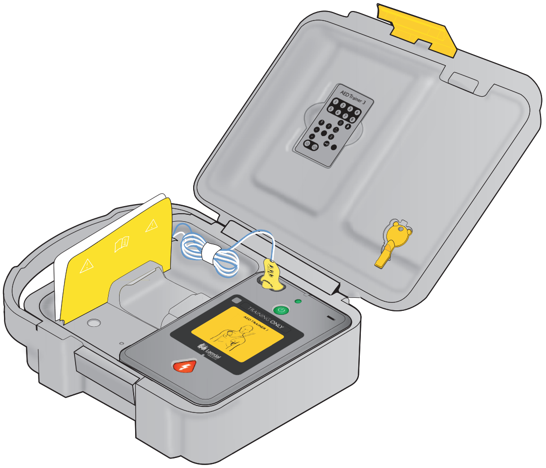
トレーニング用小児用キーの使用

トレーニング用小児用キーは、AED Trainer 3キャリングケースに固定紐で取り付けられた状態で出荷されます。
トレーニング用小児用キーを使用するには、ケースの蓋のスロットから取り出し、固定紐を伸ばしてAED Trainer 3の小児用キー・ポートにキーを差し込みます。



注記：トレーニング用小児用キーをAED Trainer 3に取り付けたまま保管しないでください。トレーニング用小児用キーは、8歳未満または体重25kg未満の小児の除細動のトレーニングを行う場合のみAED Trainer 3に取り付けます。

AED Trainer 3の使用



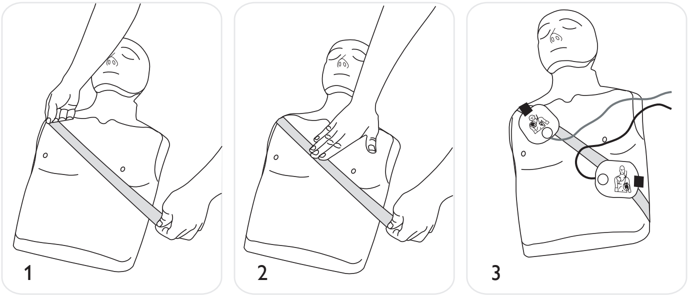
AED Trainer 3の使用準備

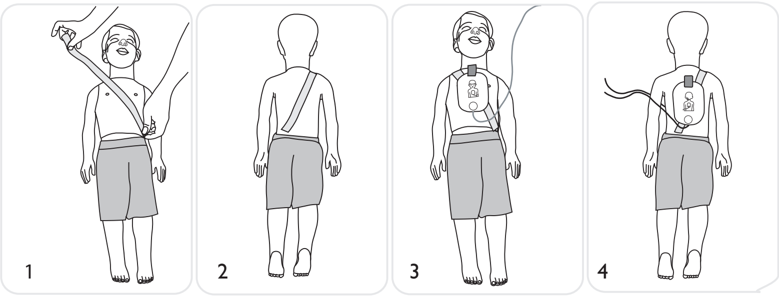
AED Trainer 3の電源をオンにする前に、以下の手順を行います。

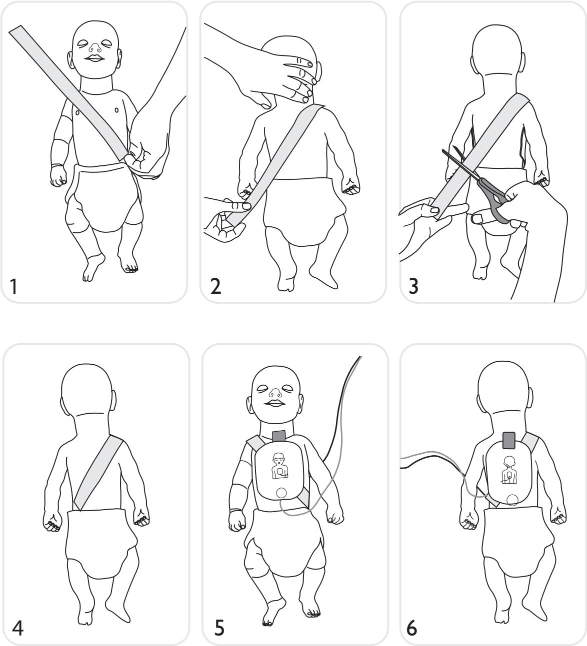
1 説明に従って、パッドがプリコネクトされていることを確認します。「トレーニング・パッドの接続」の項を参照してください。AED Trainer 3の電源を入れたときにトレーニング・パッドが接続されていなければ、パッドを傷病者の胸に直接装着し、ランプが点滅しているソケットに、パッドのコネクタを接続するよう求める音声メッセージが流れます。

2 ハートスタート・トレーニング・パッドIIIを使用する場合は、下図のように付属のトレーニング・マネキン用外部アダプタをトレーニング・マネキンに装着します。

3 図のようにパッドをアダプタの上におきます。







4　Laerdal LINK Technology トレーニング・パッドを使用している場合は、Laerdal AED レサシアン、または AED リトルアンなど、Laerdal LINK Technology を備えたLaerdal マネキンを使用してください。（Laerdal LINK Technology によって、マネキン上のパッドの正しい配置が示されます）。

5　小児の除細動のトレーニングを行う場合は、トレーニング用小児用キーを本書の表紙裏面の図に示されたポートに挿入します。小児モードは、8歳未満または体重25 kg未満の小児への除細動のトレーニングを目的としています。*

* トレーニング用小児用キーはAED Trainer 3と共に保管しておく必要がありますが、小児用のシナリオでAED Trainer 3を使用する準備ができるまで接続しないでください。

トレーニング・シナリオの選択

AED Trainer 3を使用する準備ができたら、以下の手順を行います。

1 緑色のオン／オフボタンを約 6 秒間押し続けてください。AED Trainer 3 では、オレンジ色のショックボタンを押してトレーニングシナリオを選択するように指示するメッセージが表示されます。

2 指示に従って、オレンジのショック・ボタンを押します。AED Trainer 3によって現在のトレーニング・シナリオの番号が通知されます。

3 別のシナリオを選択するには、オレンジのショック・ボタンを押したまま8種類のシナリオを順にスクロールします。AED Trainer 3によって現在のシナリオ番号が順に通知されます。**各シナリオの詳細については、「付録」の項を参照してください。**

4 希望するシナリオに達したら、電源ON/OFFボタンを押してAED Trainer 3の電源をオフにし、選択シナリオをオペレーティング・システム・カードに保存します。次回AED Trainer 3の電源をオンにしたときに、選択したシナリオがアクティブになります。

注記：使用しない状態が10分間続くと、AED Trainer 3は自動的にオフになります。

トレーニング・シナリオの実行

トレーニング・シナリオを実行するには、電源ON/OFFボタンを押してAED Trainer 3の電源をオンにします。次にAED Trainer 3の音声指示に従って緊急時に FR3 を使用するためのシミュレーションを行います。**トラブルシューティングについては、「トラブルシューティング」の項を参照してください。**

オプションのリモコンの使用

必要に応じて、AED Trainer 3ではオプションのリモコンを使用できます。これにより、インストラクターがトレーニング・シナリオを選択したり変更したりできます。リモコンは赤外線を使用するので、リモコンからAED Trainer 3の受信部まで、直接または間接的な光の経路が必要です。リモコンの使用時に受信部を覆わないでください。
受信部の位置は、本書の表紙裏面の図に示されています。

注記：直接的な経路がふさがれている場合、リモコンを天井に向けると、間接的な光の経路が得られる場合があります。

リモコンの操作については、「リモコン」の項を参照してください。

注記：AED Trainer 2のリモコンをAED Trainer 3に使用できるように、AED Trainer 3を設定できます。設定の変更については、「設定の変更」の項を参照してください。

付録

パラメータの設定 18
トレーニング・シナリオ 20
リモコン 22
トラブルシューティング 23
仕様 24
関連規格/規制について 25
記号の定義 25

パラメータの設定

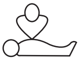
AED Trainer 3では、次のパラメータの設定が可能です。初期設定は太字で示しています。

パラメータ	設定値	説明
音量	**大**、中、小	AED Trainer 3のスピーカーの音量を設定します。
ショック・シリーズ	**1**、2、3、4	基本となるCPRプロトコルが自動的に開始されるまでの間に実行される、シリーズ内のショック回数を設定します。
ショック・シリーズ間隔（分）	**1.0**、2.0、無制限	実行されたショックを現在の連続するショックとしてカウントするかどうかを判断する時間を設定します。このパラメータは、ショック・シリーズが2回以上に設定されている場合に限り適用されます。
メトロノーム	ON、**OFF**	心肺蘇生法の胸骨圧迫の自動音を有効（「ON」）または無効（「OFF」）にします。
AED Trainer 2 リモコン	有効、**無効**	AED Trainer 3のリモコンの代わりとして、AED Trainer 2のリモコンの使用を有効にしたり、無効にします。
マネキンのLED	ON、OFF	マネキン胸部の体表にある、正しいパッド装着位置を示す除細動パッドLEDの自動点灯を有効（「ON」）、あるいは無効（「OFF」）に設定します。OFFにすると、LEDはリモコンを使用した場合にのみ点灯します（この機能はLaerdal LINKの電極とLaerdal Linkのマネキンを使用している場合にのみ適用されることに注意してください）。
成人の基本CPRタイマー（分）	1.0、1.5、**2.0**、2.5、3.0	成人の基本となるCPRCPRのCPRプロトコルの長さを設定します。
小児の基本CPRタイマー（分）	1.0、1.5、**2.0**、2.5、3.0	小児の基本となるCPRのCPRプロトコルの長さを設定します。
成人のNSA時CPRタイマー	1.0、1.5、**2.0**、2.5、3.0分	成人の基本となるCPRのCPRプロトコルの長さを設定します。
小児のNSA時CPRタイマー	1.0、1.5、**2.0**、2.5、3.0分	小児の基本となるCPRのCPRプロトコルの長さを設定します。

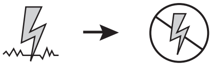
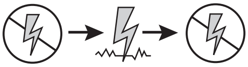
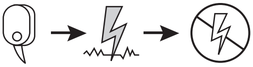
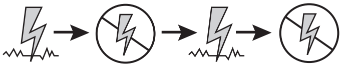
パラメータ	設定値	説明
成人のCPR優先タイマー（分）		現在は機能しないパラメータ。
小児のCPR優先タイマー（分）		現在は機能しないパラメータ。
CPRタイプ		現在は機能しないパラメータ。
トレーニング・シナリオ	1、2、3、4、5、6、7	AED Trainer 3の電源をオンにした時点で使用されるトレーニング･シナリオを設定します。
Laerdal LINK パッドの装着許容誤差	スケールを「小さい」から「大きい」へスライド	Laerdal LINKマネキンへのトレーニング・パッドの装着について、必要な確度を指定します。 許容誤差が小さいほど、より正確にパッドを装着する必要があります。

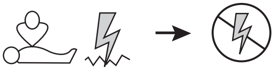
トレーニング・シナリオ

以下で定義されている記号は、トレーニングシナリオの定義を表します。

記号	シナリオの説明
	AED Trainer 3によってショックが必要な調律が検出される。
	AED Trainer 3によってショックが不要な調律が検出される。
	AED Trainer 3によってパッドの問題が検出される。
	AED Trainer 3によって「CPR優先」プロトコルが開始される。

AED Trainer 3では、次のトレーニング・シナリオを使用できます。

トレーニング・シナリオ	記号	説明
1	 1回のショックが必要	• ショックが必要な調律 • 1回のショックを実施 • ショック不要な調律
2	 調律変更後、1回のショックが必要	• ショック不要な調律 • ショックが必要な調律 • 1回のショックを実施 • ショック不要な調律
3	 パッドのトラブルシューティング、1回のショックが必要	• パッド接触不良 • ショックが必要な調律 • 1回のショックを実施 • ショック不要な調律
4	 除細動後の再除細動	• ショックが必要な調律 • 1回のショックを実施 • ショック不要な調律 • 3分後再度ショックが必要な調律 • 細動を停止するのに1回のショックが必要 • ショック不要な調律

トレーニング・シナリオ	記号	説明
5	ショック不要な調律	• 終始ショック不要な調律
6	2回のショックが必要	• ショックが必要な調律 • 2回のショックを実施 • ショック不要な調律
7	 CPR優先、1回のショックが必要	• ショックが必要な調律 • CPR優先 • ショックが必要な調律 • 1回のショックを実施 • ショック不要な調律
8	ショックが必要な調律	• 終始ショックが必要な調律

リモコン

リモコンのボタンの機能について以下に説明します。

ボタン	機能
1 – 8	**シナリオの選択。**8つの標準シナリオの1つを押して選択します。（AED Trainer 3によって選択されたシナリオが開始されます。）
	一時中断/再開。「一時中断」を押すと、AED Trainer 3のすべての動作が中断されます（AED Trainer 3の中断中は、AED Trainer 3のON/OFFランプがゆっくりと点滅します）。中断した時点から動作を再開させるには「再開」を押します。
	ショックが必要な調律。このボタンを押すと、ショックが必要な調律のシミュレートします。（この機能は実行中のシナリオより優先されます）。
	ショック不要な調律。このボタンを押すと、ショック不要な調律のシミュレートします。（この機能は実行中のシナリオより優先されます）。
	CPR優先。このボタンを押すと、ショックが必要な調律のシミュレーションが行われます。AED Trainer 3によって最初の心電図解析からCPR優先が決定され、それに続く心電図解析でショックが決定されます。 （この機能は実行中のシナリオより優先されます）。
	良好なパッドの接続。このボタンを押すと、AED Trainer 3とパッドとの良好な接続のシミュレーションが行われます。 （この機能は物理的なパッドの装着位置 / 接続状態の検出より優先されます。）
	パッド接続不良。このボタンを押すと、AED Trainer 3とパッドとの接続不良のシミュレーションが行われます。 （この機能は物理的なパッドの装着位置 / 接続状態の検出より優先されます。）
	体動アーチファクト。このボタンを押すと、心電図解析に影響する体動アーチファクトのシミュレーションが行われます。（この機能によって解析が中断され、AED Trainer 3から使用者に動かないように指示する音声メッセージが出力されます。）
	マネキンのパッドLED。このボタンを押すと、マネキンの胸部のパッド装着位置を示すLEDが点灯します。（Laerdal LINKの電極とLaerdal Linkのマネキンを使用している場合にのみ適用されます。）
	エラー状態。このボタンを押すと、AED Trainer 3でAEDのエラー状態のシミュレーションが行われます。（AED Trainer 3の電源がオフになり、10秒ごとにビープ音が鳴ります。） **注記：エラー状態を解消して、さらに使用するためにAED Trainer 3の電源をオンにするには、緑の電源ON/OFFボタンを2回押します。**
	AEDのバッテリ残量低下。1回押すと、AED Trainer 3のバッテリ残量低下状態のシミュレーションが行われます。もう1回押すと、バッテリの交換を求めるメッセージが流れます。
	スピーカー音量。このボタンを押すと、AED Trainer 3のスピーカー音量が「大」、「中」、「小」の三段階のいずれかに設定されます。

トラブルシューティング

AED Trainer 3を使用する場合のトラブルシューティングを下表に示します。さらにサポートが必要な場合は、レールダルの営業担当にお問い合わせください。または、www.laerdal.comを参照してください。

問題	原因	対処法
AED Trainer 3が動作せず、電源をオンにするとビープ音が鳴る。	• オペレーティング・システム・カードが挿入されていない。	• オペレーティング・システム・カードを挿入してください。
	• 不適切なカードが挿入されている。	• 正規のオペレーティング・システム・カードを挿入してください。
	• オペレーティング・システム・カードが破損しているか、ファイルが見つからない。	• 交換用のオペレーティング・システム・カードを入手してください。
パッドをマネキンに装着する前にAED Trainer 3から「解析中です」というメッセージが出力される。	• ハートスタート・トレーニング・パッドIIが接続されており、AED Trainer 3はパッド・コネクタのプラグが差し込まれると直ちにパッドがマネキンに装着されていると検出する。	• ハートスタート・トレーニング・パッドⅡを使用する場合は、AED Trainer 3に接続する前に、パッドをマネキンに装着します。または、ハートスタート・トレーニング・パッドⅢまたはLaerdal LINKシステムを使用してください。パッドが正しく接続されたことをAED Trainer 3が自動的に検出します。
パッドをマネキンに装着してもAED Trainer 3が反応しない。	• Laerdal LINK Technologyのトレーニング・パッドがLaerdal LINK Technologyのマネキンに正しく装着されていない。	• パッドを正しく装着します。
AED Trainer 3のバッテリがすぐに消耗する。	• 1つまたは複数のバッテリの方向が間違っています。	バッテリ・スロット内の図に従って、バッテリを装着し直してください。

仕様

AED Trainer 3	仕様
寸法	218 mm x 133 mm x 57 mm
質量（電池を含む）	600 g
電池のタイプと数量	単三アルカリ電池（LR6） x 4
電池の容量	> 10時間
環境仕様	動作温度：10°C〜35°C 保管温度：0°C〜40°C 相対湿度：0〜90%（結露なし）
材料	筐体：アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン（ABS） コントロール・ボタン：シリコン 脚部：ポリウレタン（PU）
キャリングケース	**仕様**
寸法	362 mm x 290 mm x 132 mm
質量	300 g
材料	ナイロン
リモコン	**仕様**
寸法	96 mm x 54 mm x 6 mm
バッテリのタイプ	リチウムCR2025 3V
トレーニング用小児用キー	
寸法	48 mm x 25 mm x 7 mm
材料	ポリカーボネイトおよびポリブチレン・ テレフタレート（PC + PBT）

関連規格/規制について

本製品は、以下に準拠することにより、電磁両立性に関するCouncil Directive 2004/108/ECの必須要件に準拠しています。

- IEC 61000-6-3 Electromagnetic Compatibility (EMC) - Part 6-3: generic Standards - Emission standard for residential, commercial and lightindustrial environments(2006)
- IEC 61000-6-1 Electromagnetic Compatibility (EMC) - Part 6-1: Generic standards - Immunity for residential, commercial and light-industrial environments

本製品は、FCC Part 15 Radio Frequency Devices, Subpart B – Unintentional Radiators (May 2004) に準拠しています。本機器はFCC Rules（連邦通信委員会規則）のPart 15に従っています。動作にあたっては、以下の2つの条件が課せられています。（1）本機器は、有害な妨害を発生しない、かつ（2）本機器は、望ましくない動作を引き起こす妨害を含む、すべての妨害に曝されるものとします。

本機器はFCC RulesのPart 15に従うClass Bのデジタル機器の制限事項に準拠することがテストによって確認されています。これらの制限事項は居住環境への設置時に有害な影響から適切に保護されるよう設計されています。本機器は高周波ネルギーを生成、使用、放射するため、指示に従って設置や使用をしない場合は、無線通信に対する有害な干渉の原因となる場合があります。ただし、特定の設置状況で干渉が生じないことを保証することはできません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は（機器のオフとオンを切り替えることによって判別可能）、以下の1つ以上の対処法によって干渉の是正を試みることが推奨されます。

- 受信アンテナの方向を変えるか位置を変える。
- 機器と受信機の距離を増やす。
- 受信機が接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店または有資格のラジオ / テレビ技術者に問い合わせる。

記号の定義

記号	定義
CE	本製品は、電磁両立性に関するCouncil Directive 2004/108/ECの必須要件に準拠しています。
LATEX	本製品には天然ゴム・ラテックスは使用していません。
N25270	Australian EMC認定マーク
	再生紙使用。
	本製品は、European DirectiveのWaste Electrical and Electronic Equipment（WEEE、電気 / 電子機器の廃棄に関する指令）（2002/96/EC）に従うマーキングを実施しています。

Reference to Global warranty:
For information on Laerdal's Global Warranty, please refer to the website www.laerdal.com.

Manufacturers address
Laerdal Medical AS,
P.O. Box 377,
Tanke Svilandsgate 30,
4002 Stavanger, Norway

Technical Assistance
For Technical Assistance please contact your local Laerdal Technical Service Centre.

グローバルワランティについて
当社のグローバルワランティの詳細については、当社Webサイト（www.laerdal.com）を参照してください。

製造元住所
Laerdal Medical AS,
P.O. Box 377,
Tanke Svilandsgate 30,
4002 Stavanger, Norway

テクニカル・サポート
テクニカル・サポートについては、レールダル・テクニカル・サービス・センターにお問い合わせください。

Référence à la garantie globale :
Pour plus d'informations sur la garantie globale de Laerdal, veuillez consulter le site Web www.laerdal.com.

Adresse du fabricant
Laerdal Medical AS,
P.O. Box 377,
Tanke Svilandsgate 30,
4002 Stavanger, Norvège

Assistance technique
Pour bénéficier d'une assistance technique, veuillez contacter votre centre de service technique Laerdal.

Verweis auf weltweite Gewährleistung:
Informationen zur weltweiten Gewährleistung von Laerdal finden Sie unter www.laerdal.com.

Herstelleradresse
Laerdal Medical AS,
P.O. Box 377,
Tanke Svilandsgate 30,
4002 Stavanger, Norwegen

Technischer Support
Um technischen Support anzufordern, wenden Sie sich bitte an Ihr örtliches technisches Kundendienstzentrum von Laerdal.

Acerca de la garantía global
Para obtener información sobre la garantía global de Laerdal, consulte el sitio web www.laerdal.com.

Dirección de los fabricantes
Laerdal Medical AS,
P.O. Box 377,
Tanke Svilandsgate 30,
4002 Stavanger, Noruega

Servicio técnico
Si necesita asistencia técnica, póngase en contacto con el centro de servicio técnico local de Laerdal.

Riferimenti per la garanzia globale:
Per informazioni sulla garanzia globale Laerdal, visitare il sito Web www.laerdal.com.

Indirizzo del produttore
Laerdal Medical AS,
P.O. Box 377,
Tanke Svilandsgate 30,
4002 Stavanger, Norvegia

Assistenza tecnica
Per l'assistenza tecnica, contattare il centro di assistenza Laerdal di zona.

© 2012 Laerdal Medical AS. Alle rechten voorbehouden.

20-04469 Rev C

Laerdal
helping save lives